

使 い 方 い ろ い ろ

こんな学習にも使えます!

- 美術館で鑑賞する際の事前学習に
- 国語科や社会科などの副教材に
- 学級活動などで子どもたちのコミュニケーションを深めたいときに

★ 子どもたち同士のコミュニケーションを深めたいときに・・・

対 象：小学校低学年～

教科等：特別活動（学級活動）

活動名：「神経衰弱ゲーム」

- 内 容：①グループごとに全てのカードを裏返しにして並べる。
②順番を決め、2枚カードをめくる。
③めくったカードの共通点（例：同じ色や形、人物や動物、木、雲…など同じ内容が描かれている）を探し、みんなに説明する。認められた場合はカードをもらうことができる。説明できなかった場合は、カードを元に戻す。
④カードをもらった枚数が一番多い人が勝ち!

どっちの絵にも
四角い形が
あるよ!



★ 鑑賞の力を高めたいときに・・・

対 象：小学校中学年～

教科等：図画工作科、美術科

題材名：「○○美術館をつくろう」

- 内 容：①グループ（3～4人）ごとに「イメージ（ことば）カード」の中から、美術館のテーマになることばを一つ選ぶ。「ふわふわ美術館」「おもしろい美術館」など。
②テーマに合った作品を作品カードの中から6枚選び、並べる。
③選んだカードについて作品のどこがテーマと合っているのかなどを紹介し合う。
セットには、作品カードを立てて並べることができるよう小さな台が6つ入っています。

昼寝をして
ふわふわした
気持ちになって
いるよ!

トラの毛が
ふわふわして
いるよ!



★ ことばで書いたり、話したりする力を高めたいときに・・・

対 象：小学校高学年～

教科等：国語科

題材名：「説明文を書こう」

- 内 容：①自分が説明したい作品を一つ選ぶ。
②選んだ作品に描かれている内容について、説明する文章を書く。
③書いた文章を聞き手に分かりやすいよう推敲し合う。
④お互いに紹介し合う。

★ ほかに、授業のねらいに応じて様々な使い方が可能です。